

平成 25 年度第 1 回県立病院経営委員会 会議録

1 日時

平成 25 年 6 月 13 日（木）10:30～12:05

2 場所

岩手県民会館 4 階第 2 会議室

3 出席者

(1) 委員

浜田委員長、阿部委員、木村委員、工藤委員、小暮委員、山内委員（6 名出席）

(2) オブザーバー

医療政策室千葉医療政策担当課長

(3) 事務局

佐々木局長、八重樫次長、熊谷経営管理課総括課長、菊池参事兼職員課総括課長、佐藤医事企画課総括課長、菅原業務支援課総括課長、野原医師支援推進室長、千葉医師支援推進監

4 会議公開について

〔委員長〕

本日の委員会については、協議事項や資料の中に、情報公開条例に規定する非開示情報が含まれていないことから、公開により開催することとした。

5 議事

(1) 「岩手県立病院等の新しい経営計画」平成 24 年度 of 取組状況について

熊谷総括課長が資料 1、資料 2-1、資料 2-2 により説明した後に質疑を行った。

〔木村委員〕

地域支援病院について、紹介率・逆紹介率が基準となっているが、診療所が多く、逆紹介しやすい都市部と異なり、診療所が少なく、紹介する所が少ない地方では、取得が厳しいと思う。

在宅医療、訪問診療などについて、積極的に打ち出している病院もあるが、その状況を教えてほしい。

〔医事経営課総括課長〕

紹介率については、基幹病院では H24 年度 45.9%と年々増加している。逆紹介率についても H24 年度 34.2%と同様の傾向。圏域によって医療機関が少なく、難しいところもある。

地域支援病院については、県立では中央と中部が指定されており、今年度磐井病院が申請予定。

〔経営管理課総括課長〕

在宅医療等については、前回委員より指摘があり、次期経営計画で検討を進めていく。現在、各病院に将来の病院の地域での役割について照会中である。各病院が目指す姿、地域での役割、特色について検討していく。

〔阿部委員〕

初期研修医が目標値を下回っている。来年には地域卒の学生が卒業する。研修は何処でも出来ることとなっているが、県内の研修病院に残るような誘導策や義務付けなどはないのか。

〔医師支援推進監〕

義務付けは困難である。県内の合同説明会を通して、研修病院の特色をアピールしたり、全国各地での説明会に積極的に参加、PR している。奨学生、地域卒が卒業してくる中で、受け皿としてどのようにしていくかをワーキンググループで検討している。また、医学生向けセミナーを開催し、奨学生に対しては意識付けを行うことで成果を出していきたい。

〔阿部委員〕

県がお金を出して支援している。研修医も戦力である。誘導していただきたい。

〔浜田委員長〕

今の地域卒は何名か。

〔医師支援推進室長〕

地域卒の卒業生は 10 名である。共通のマッチング制度がある中で、県内での研修の義務付けは難しいが、県内で研修し、初期から後期にシームレスに進めるような研修体制や専門医取得などの魅力づくりについて、ワーキンググループで詰めていきたい。

〔工藤委員〕

沼宮内診療センターの民間移管への進捗状況は。

〔経営管理課総括課長〕

岩手町として民間有床診療所を誘致したいとして、ある医療法人と協議を進めてきたが、医療スタッフの確保が困難であるとして、法人が開業する段階に至っておらず、今後も町と法人で継続して協議を進めていくこととしている。

〔浜田委員長〕

増収に関して、上位施設基準の取得、診療報酬の改定となっているが、外科の手術点数が上がったことというのが大きいのか。

〔経営管理課総括課長〕

手術料の上昇に加え、上位施設基準の取得として、感染症防止対策関係の加算や、地域連携加算を積極的に取得したこと、診療報酬がプラス改定で来ていることが影響している。

〔阿部委員〕

単価アップの影響が大きい。また、DPC 病院では施設基準を取ると、調整係数が上がることから増収になっている。

更に、事務部門が勉強会を開催し、単価アップや上位施設基準取得のための要件や DPC 分析を進めている。SPD による費用減や全体のエコ活動が活発になったことも要因。

(2) 次期経営計画の策定について

熊谷総括課長が資料 3-1、資料 3-2 により説明した後に質疑を行った。

〔工藤委員〕

退職給付引当は、制度改正後原則一括計上であるが、分割計上も選択できるとのことだったが、方向性はどうか。

今後の繰延勘定はしないとのことだが、繰延勘定に関する考え方は。

減損会計について、グループ化及び減損会計の兆候についてどう考えるのか。

〔経営管理課総括課長〕

退職給付引当について、結論はまだであるが、前回委員から将来あるべき負担は明らかにすべきとの意見もあったことから、今のところ一括計上の方向で考えている。

繰延について、25年度予算でも前倒し償却の予算を確保し、24、25年度で繰延償却を解消予定である。

減損会計については、まだ検討中である。グルーピングは病院単位が基本であるが、減損の兆候については明確なものはない。未利用地の整理が、当面の措置になる見込み。

〔局長〕

会計基準の見直しの中で、減損会計については一番悩んでいるところ。未利用地はそのとおりであるが、本来の減損会計の考え方からすれば、損益で赤字が続いている病院を切り離すということになるが、病院事業の場合、医師確保により将来どうなるかが大きいところもあるので、どこまで対応すべきかについては、他県の状況を見ながら検討していく。

〔工藤委員〕

県立病院としての役割もある。単純に損益だけで判断するわけにはいかないと思うので、慎重に検討していただきたい。

〔木村委員〕

五ヶ年計画についてはいつ議論するのか。

〔経営管理課総括課長〕

今回はこれまでの議論を踏まえた基本方向を盛り込んだ部分を協議頂き、具体的な実施計画については、病院とのヒアリングの後調整し、次回示していきたい。

〔木村委員〕

少子高齢化が進んでいる中で、以前の考え方に基づく五ヶ年計画を続けて、多少の変更をするだけで済むのか。二次医療圏に複数の県立病院があるが、基幹病院と診療センターの位置付けを明確にすべきではないか。国の急性期、療養に関する制度も厳しい状況に変わっていく方向にある。介護が主体となる時代になってきている。だからといって、県立病院で介護をやる必要があるのか。看護師は多少県内に残る状況があるが、介護に関しては入学者が減少している。理由として3Kの職種になっており、なり手が少ないうえに学生数自体が減っている。介護が立ち行かなくなれば、医療にも支障が生じる。高齢者医療に関して検討し、見直す必要がある。

〔局長〕

前々回の経営計画（H16～H20）は5病院を有床診療所にする計画とし、前回の経営計画（H21～H25）は1病院5診療所を無床化するという計画であり、県民から議論をいただいたところ。津波からの復興も踏まえつつ、今回のたたき台を作った。県立病院事業として、介護事業そのものはできないが、今ある介護施設と連携しつつ、圏域毎の状況に合わせて進めていきたい。

〔山内委員〕

8割の方が病院で亡くなっている現状において、県立病院として、地域の中で果たすべき役割を考えて連携を進めてもらいたい。

県立しかない地域もあり、基幹型病院であっても、積極的に在宅医療に取り組む必要がある場合も考えられる。

〔浜田委員長〕

在宅医療、地域医療連携の部分で、今の意見の方向で盛り込んでもらいたい。

〔局長〕

それぞれの病院、センターの役割をどう考えるかをヒアリングし、圏域毎に医療介護の状況を踏まえつつ、更に詳しいものを作成していきたい。

〔阿部委員〕

どの部門も人数が足りない状況。病院として計画した内容を遂行できるよう定数枠の拡大を実施してほしい。

〔木村委員〕

二次医療圏の中に複数の病院があり、診療所化せざるを得ないところがあるので、急性期病院に人員を厚く配置するべきではないか。それをなしに人を増やせということにはならない。

〔局長〕

高齢者が増えたのでリハビリを増やしてほしいとか、医療安全のために ME を増やしてほしいという話を聞いている。単に人を増やせということではない。

〔浜田委員長〕

人口推計において、かなり減少してきているが、医療介護ニーズが増えてきていると思われる。二次医療圏毎にニーズについて把握する必要がある。

〔小暮委員〕

患者に優しく接することを徹底することを計画に含めては。そういうことをした人が役に立っているという達成感ややりがいのある、働きやすい職場環境を作ること。ただ、人件費はそう上げられないと思うが。医療事務や清掃などの委託費はどうなっているか。認定看護師などを取得した人への資格手当はあるのか。お金でなくても表彰制度はあるのか。

〔局長〕

認定までの研修費と更新費用までで、手当は付けていない。病院長による各職員への表彰制度はある。

〔経営管理課総括課長〕

委託費は 24 年度 245 億円、費用の 5%程度となっている。

〔阿部委員〕

認定看護師への処遇は、手当は難しかったが、職場環境の整備や学会派遣などを行っている。

〔小暮委員〕

病院ボランティアにどんなことをやらせているのか。

〔局長〕

外来案内や環境整備などである。

〔阿部委員〕

広報などで募集をかける。2～3年に1回感謝状などを送っている。

(3) その他

次回の委員会については、原則公開とするが、協議事項・資料等に非開示情報が含まれる場合は、あらかじめ、各委員の意思を確認のうえ、委員長が開示・非開示を決定することとした。